学校だより

千葉市立
みつわ台北小学校
5月号
(R7年5月1日)

「考えること」の大切さ

校長 池内 哲夫

学校の見回りをしてしていると、5年生の学年室から「このルールなんだけど、表現を変えたほうがいいと思います。」「もっと低学年にもわかりやすくしたいです。」などの会話が聞こえてきました。学年室をのぞいてみると、5年生の児童が「みつ北っ子のやくそく」を、わかりやすく守りやすいものにしようと学年全体で話し合っていました。自分の考えを述べたり、他の友達の考えを聞いたりする活動の中で、「なぜこの約束があるのか」「なぜ必要なのか」等を児童一人一人が自分事としてとらえ考える姿がありました。児童の中には「これまで、どうして必要なのかを考えることは少なかったけど、今回、みんなで話し合えてよくわかった」という声も聞けました。高学年のスタートを切ったばかりの5年生ですが、全校のために考えていくきっかけとなりました。

同じように他の学年でも「みつ北っ子のやくそく」について話し合っています。自分たちで考えた「みつ北っ子のやくそく」はもうすぐ完成します。

4月25日には「1年生を迎える会」がありました。とても心温まる会となりました。本番当日の朝まで、1年生を迎える会を素晴らしいものにしようと努力を重ねる6年生の姿がありました。

6年生は準備の時から、主体的に話し合い、1年生だけでなく他の学年も楽しんでもらえるにはどうしたらよいか考えました。そして、学校行事や学校生活について、スライドや劇、小道具、クイズ等を使って発表することにしました。練習時には、お互いの発表を見合いながら「どうすればより分かりやすくなるか」意見を出し合っていました。自分たち

で課題を見出し、課題解決し、よりよい発表を目指す姿に大きな成長を感じました。

最高学年としてふさわしい態度で1年生を迎える会をやり遂げ、とても立派でした。

みつわ台北小学校では「考えること」を大切にしています。児童の気づきや疑問に対して、すぐに答えを言うのではなく「なぜだと思う？」と問いかける等、児童が考える時間をとるようにしています。

他の学年の活動の様子も、学校だよりを通してお伝えしていきます。

写真

写真